

広島県感染症発生動向週報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

1. 五類定点疾患週報情報

令和8年第36週(令和8年8月31日～9月6日)【速報】

No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1		No.	疾患名	週間報告数	定点当たり	過去5年平均※1	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI)※2	3,488	37.91	—	↗	11	突発性発しん	12	0.22	0.22	→
2	インフルエンザ ※3	122	1.33	0.55	↗	12	ヘルパンギーナ	19	0.35	0.61	↘
3	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	87	0.95	—	↗	13	流行性耳下腺炎	1	0.02	0.03	
4	RSウイルス感染症	35	0.64	1.02	↗	14	急性出血性結膜炎	1	0.05	0.01	
5	咽頭結膜熱	18	0.33	0.25	↗	15	流行性角結膜炎	7	0.37	0.63	
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	94	1.71	1.18	→	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	感染性胃腸炎	246	4.47	3.21	↗	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.04	
8	水痘	12	0.22	0.09		18	マイコプラズマ肺炎	8	0.40	0.47	
9	手足口病	40	0.73	1.68	↗	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	0	0.00	0.42		20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

発生記号(前週と比較)

	ARI定点 (内科)	ARI定点 (小児科)	眼科定点	基幹定点
疾患No.	1～3	1～13	14,15	16～20
定点数	37	55	19	20

急増減	↑	↓	1 : 2 以上の増減
増減	↗	↘	1 : 1.5 ～ 2 の増減
微増減	↗	↘	1 : 1.1 ～ 1.5 の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

●インフルエンザの定点当たり報告患者数が広島県全体で流行入り基準値(定点当たり:1)を上回りました。
インフルエンザが流行入りしたと考えられますので今後の情報にご注意ください。
感染予防、拡大防止対策として、手洗いや咳エチケットなどの感染予防対策を徹底しましょう。

【急増減疾患(前週比2倍以上増減)】

●急増疾患 なし
●急減疾患 なし

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4		1	1		2		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	2	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1							1
		日本紅斑熱	1			1				
五類	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		梅毒	1					1		
		百日咳	1							1

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>